聞こえない・見えない聞こえない人の

防災・支援マニュアル

大分県聴覚障害者災害情報保障対策委員会

聞こえない・見えない聞こえない人の防災・支援マニュアル

目　　次

〈聴覚障害者、盲ろう者向け〉

1. 日ごろの備え、心がまえ ……1
2. もし災害が起こったら ……3
3. 避難所では ……4

〈支援者・団体向け〉

1. 聞こえない・見えない聞こえないってどんなこと？ ……5
2. 聴覚障害者・盲ろう者の声 ……6
3. 聞こえない・見えない聞こえない人への支援 ……7
4. 聞こえない・見えない聞こえない人とのコミュニケーション方法 ……9

〈資料〉

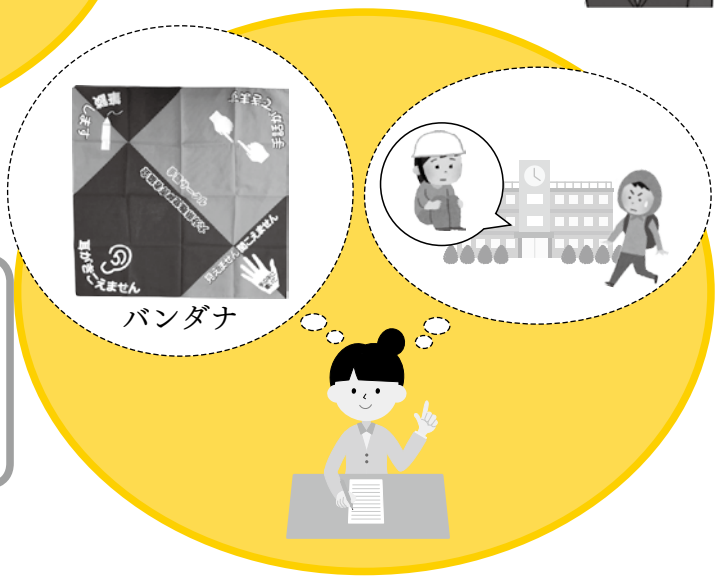
1. 避難所へ掲示するポスター ……10
2. 聴覚障害者・盲ろう者の非常持出し品チェックシート ……11
3. 常備品と非常持出し品チェックシート ……12
4. 聞き取り調査シート ……13
5. お願いシート ……14
6. 安否連絡ＦＡＸ・安否連絡メール ……16
7. 避難メモ（いざという時の控え）……18
8. ヘルプカード ……20

1 日ごろの備え、心がまえ

防災訓練や学習会に
参加しましょう。

避難所を
確認しましょう。

連絡方法を
決めましょう。



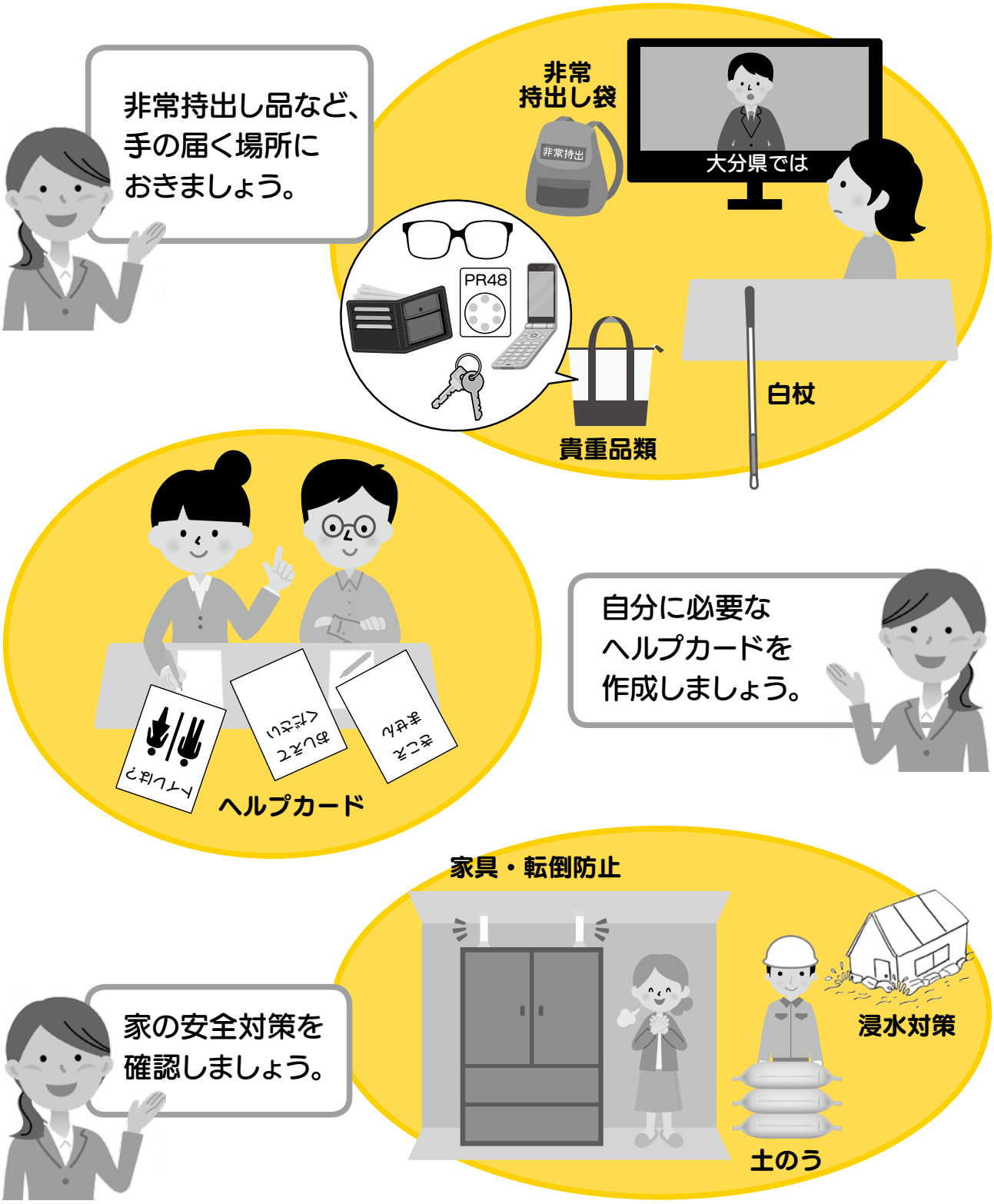
(1) 地域の防災訓練や学習会に参加し、避難経路や避難所を確認しましょう。

(2) 避難経路は複数調べておきましょう。

(3) 学習会などに参加する時は手話通訳者や要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の派遣を依頼しましょう。

(4) 災害時の連絡方法、避難した際の待ち合わせ場所など家族で決めておきましょう。

(5) 災害が起きた時に、自分の障害を地域の方々に知ってもらうことが大切です。伝える方法を決めておきましょう。



⑹ 眼鏡や白杖、筆記用具、ケイタイ・スマホなどを、常に身近な場所に置くようにし、非常持出し品は必要な物がそろっているかチェックしておきましょう。※11ページ参照

⑺ 自分に必要なヘルプカードを作成しておきましょう。※20ページ参照

⑻ 日ごろの備えが大切です。家の中の安全対策について確認しておきましょう。

2 もし災害が起こったら

～自分の身は自分で守る～

⑴ 慌てないで、まず自分を守る行動をしましょう。

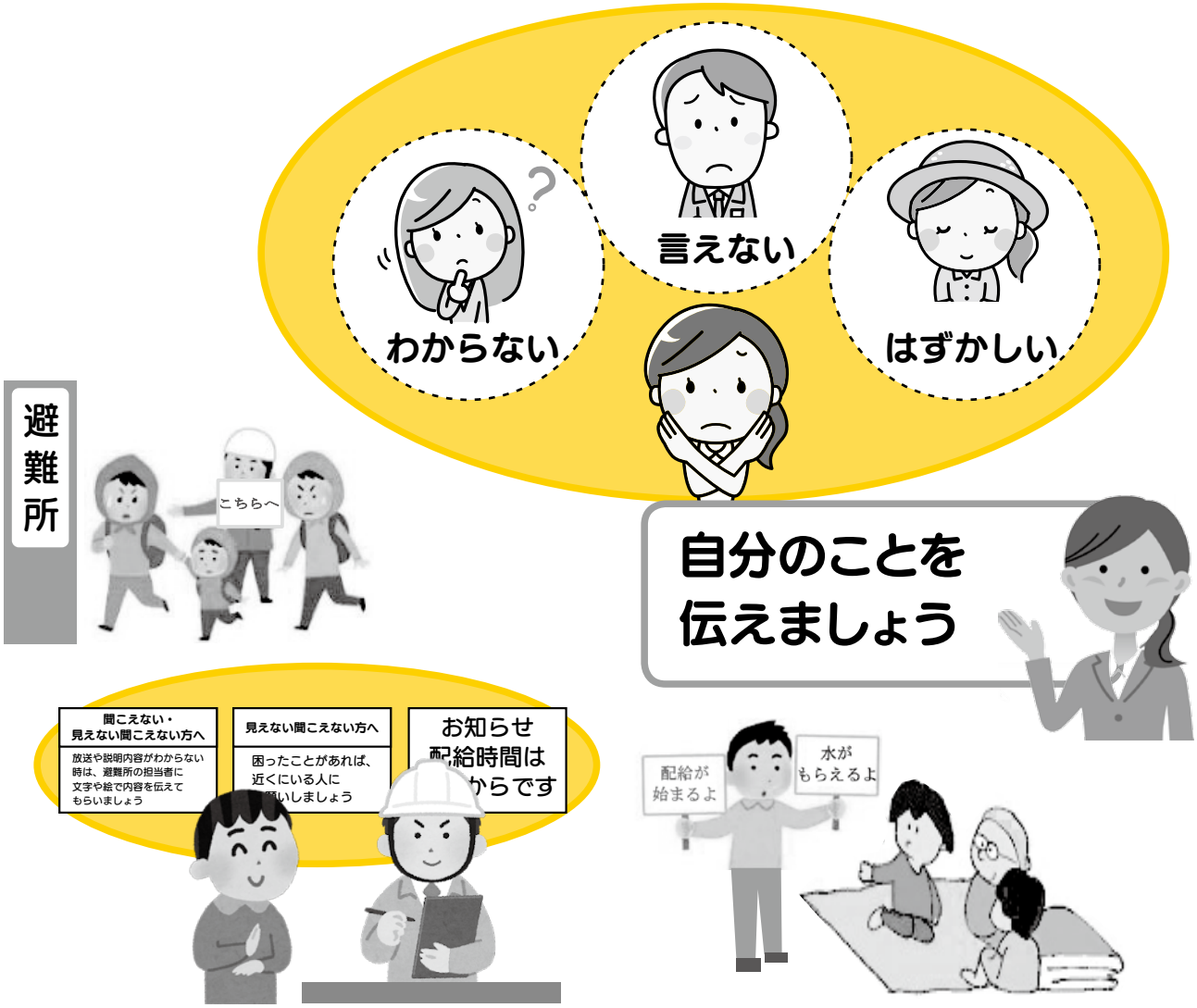
⑵ テレビ放送で発表される気象庁からの警報・注意報や、市役所・役場・県・国などから発信される情報を確認しましょう。

⑶ 避難する場合は、情報を得るために近所の人や家族と一緒に避難しましょう。

⑷ 火事の時は周りの人にすぐ知らせ、初期消火に努め、無理な時はすぐに避難しましょう。

⑸ 声に出して呼ぶ代わりに、懐中電灯の光を回したり、笛を吹くなどの工夫をしましょう。

3 避難所では



(1) 避難所の責任者などに、自分のことを知らせましょう。

(2) 情報収集に努めましょう。

- 食料品の配給や決まり事などの情報は、掲示板・壁などに貼ってほしいことを伝えましょう。
- スマホやタブレット、テレビを活用したり、近くにいる人から情報を得ましょう。

(3) 自分の安否を報告しましょう。

- メールや災害用伝言板などを使って、自分の安否、状態を支援団体、地域の聴覚障害者協会などに報告しましょう。または、安否報告を責任者に依頼しましょう。※ 16,18ページ参照

(4) 避難所では、お互いに協力し助け合いましょう。

- 避難所ではお互いに助け合いながら、周りの人に自分のことを知ってもらうことも大切です。

1 聞こえない・見えない聞こえないってどんなこと？

災害時には、聞こえない・見えない聞こえない人にとっては、たくさんの困難が起こります。

⑴ 音声での災害情報や様子が分からず、避難が遅れてしまったり、避難する状態かどうかの判断がつかないことが起きます。

⑵ 避難所でも、音声情報が聞こえないと適切な行動がとれません。外見だけではわからない為、誤解を受けて人間関係を損ねてしまうこともあります。

～聞こえない人（聴覚障害者）とは～

① 耳の不自由な人といってもさまざまです。全く聞こえない人、補聴器を使えば聞き取れる人、話ができる人、話ができない人などそれぞれ違います。

② 大声で呼びかけても聞こえにくいです。そばに行って、肩をたたいたり、正面にまわって目が合ってから話してください。

③ 話しかける時は、相手の前に立って顔を見てはっきりした口形で話してください。
※ただし、あまりゆっくり区切りすぎるとかえって分かりにくいことがあります。

～見えない聞こえない（盲ろう者）とは～

① 全く見えなくて全く聞こえない人、全く見えなくて少し聞こえる人、少し見えて全く聞こえない人、少し見えて少し聞こえる人のことです。

② 障害の状態や盲ろうになるまでの過程で、コミュニケーション方法が個人個人違います。

③ 一人で移動するのが困難です。

2 聴覚障害者・盲ろう者の声

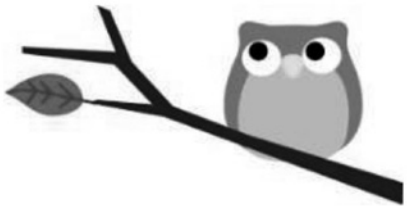
1．避難する時

⑴ どんなことで困るの？

・情報がうまく伝わってこない
・サイレンの音が聞こえない

⑵ そんな時、どうしているの？

・分からないので普段通り過ごす
・家族の者に頼む
・近くにいる人に何が起きているのか尋ねる



⑶ どうなったらいいと思う？

・警報がなったことを教えてほしい
・筆談や手のひらに文字を書いて教えてほしい
・一緒に避難してほしい

2．避難所

⑴ どんなことで困るの？

・放送が聞こえない
・情報がうまく伝わってこない
・トイレの場所がわからない
・掲示板などが見えない、見にくい
・自分で置いた物が別の場所に動いてる(盲ろう者)

⑵ そんな時、どうしているの？

・耳が不自由であることを伝える
・近くの人に尋ねる
・身振り手振りを交えて口話で話す
・筆談してくれるように頼む
・自分でトイレの場所を探す（盲ろう者）
・見やすいように書き直してもらう
・家族の者に頼んだり、ただじっとしている
・動いた物を手探りで探す（盲ろう者）

⑶ どうなったらいいと思う？

・掲示板や大きな紙やボードなどに文字で情報を知らせてほしい
・絵を使ったりして情報を教えてほしい
・筆談や手話、盲ろう者の介助ができる人を配置してほしい
・安全な場所やトイレの場所に移動支援してほしい（盲ろう者）
・新しい情報が出たらランプなどで知らせてほしい
・手のひらに、文字を書いてほしい
・物を動かす時に教えてほしい（盲ろう者）

3 聞こえない・見えない聞こえない人への支援

避難する時に情報がうまく伝わらず、逃げ遅れることがあります。
聴覚障害者・盲ろう者だとわかったら一緒に避難をお願いします。
避難所では、聞こえないことを自らが発信したり、示している場合があります。そういう場合、支援をお願いします。
また、自分から聞こえないことを伝えない人もいるので、プラカードや掲示板などで、避難所に聴覚障害者がいるかどうか、確認をお願いします。
盲ろう者は一人で行動することが難しいです。その人に合った移動支援は必ず必要です。

1．情報を伝えてください

① 警報や行政の防災無線、広報車での呼びかけなどがわかれば内容を直接伝えてください。

② 救助活動の際も、自分から声を出して助けを呼べない聴覚障害者が多いし、救助者の呼びかけが聞こえないことから、命にかかわる緊急情報であれば、屋内まで見て安否を確認してください。

③ 避難所では、大事な音声情報・お知らせは、紙に書いてよく見えるところに掲示するなど、情報伝達をしてください。 ※１０ページ参照

④ 盲ろう者は周りの様子がわかりません。周囲の状況を伝え、安全な場所に案内してください。

移動をお願いされたら、手を肩などにのせて案内してください。

⑤ 盲ろう者の持ち物などを移動させる時は、本人に情報を伝え、一緒に移動してください。

2. 電話を代わりにかけてください

依頼されたときには、代わりに電話をかけてください。

電話相手からの話は、手話や紙に書いたり、手のひらに文字を書いてください。

3. 手話通訳、要約筆記、通訳・介助員が必要か確認してください。

聴覚障害者や盲ろう者が通訳者などの派遣を希望していることがあります。

派遣を依頼されたら下記へ連絡してください。

●手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の派遣依頼先

社会福祉法人　大分県聴覚障害者協会

〒870-0907 大分市大津町1丁目9番5号

電 話：097（551）2152

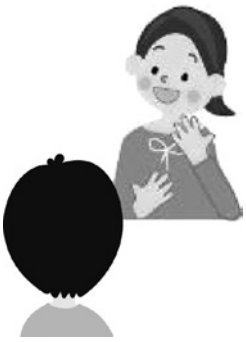
FAX：097（556）0556

Eメールアドレス　info@toyonokuni.jp

4 聞こえない・見えない聞こえない人とのコミュニケーション方法

聴覚障害者、盲ろう者の聞こえる状況は、一人ひとり違います。
情報伝達するとき肩をたたくなど、さまざまな方法を参考にし、
聴覚障害者、盲ろう者の反応を見ながらコミュニケーションを
とってください。

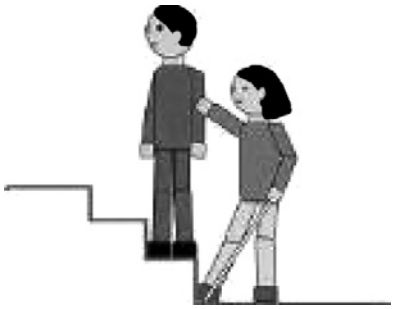
～聴覚障害者～



⑴ 手話・指文字
⑵ 読話（口話）
⑶ 筆談
⑷ 要約筆記
⑸ 空書
⑹ 補聴器など。

・手の形や動き、顔や身体全体を使って伝達する方法があります。
・読話（口話）では、お互いに1.5mぐらいの距離を保ってください。
　近すぎても遠すぎても読話は困難になります。
・筆談は紙のほかに、手のひら書き、空書があります。
・ケイタイやスマホのメール機能や文字入力機能を使っても会話はできます。

～盲ろう者～



⑴ 手話・触手話
⑵ 弱視手話・接近手話
⑶ 指点字
⑷ 筆談・手書き（手のひら書き）
⑸ 音声
⑹ ブリスタ・パソコンなど。

・自分の名前を伝える時は、男性か女性かを伝えてください。
　（例）「きよみ」「ひろみ」など、どちらかわからない時があります。
・「ブリスタ」とは、紙テープに点字を打っていく点字用タイプライター
　です。通訳者の左側に盲ろう者は座り、この送り出された紙テープの
　点字を読んでいきます。

1 避難所へ掲示するポスター

避難所に掲示するポスターが下記のホームページよりダウンロードできます。

社会福祉法人 大分県聴覚障害者協会　http://www.toyonokuni.jp

聞こえない・見えない聞こえない方へ

コミュニケーションで困ったら通訳を手配してほしいと避難所の担当者に頼みましょう

手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の派遣依頼先
社会福祉法人　大分県聴覚障害者協会
〒870-0907　大分市大津町１丁目９番５号
電話：097（551）2152
FAX：097（556）0556
Eメールアドレス　info@toyonokuni.jp

聞こえない・見えない聞こえない方へ

困ったことがあれば、
避難所の担当者に
相談しましょう

聞こえない・見えない聞こえない方へ

放送や説明内容がわからない時は、避難所の担当者に文字や絵で内容を伝えてもらいましょう

聞こえない・見えない聞こえない方へ

見えない聞こえない方へ

困ったことがあれば、
近くにいる人に
お願いしましょう

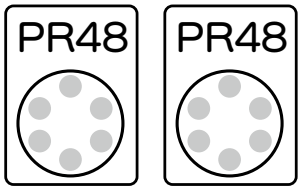
＜お願い＞

盲ろう者は「赤」は見づらいです。
「黒字」でお願いします。

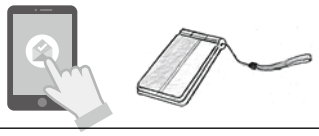
2 聴覚障害者・盲ろう者の非常持ち出し品チェックシート

□ 補聴器

□ 補聴器の電池

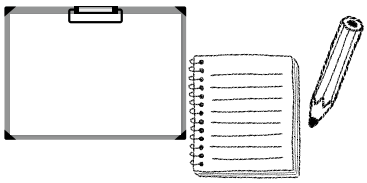


□ 文字情報が分かるケイタイ・スマホ

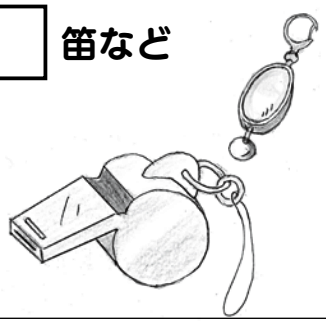


□ 充電器

□ 手書きボード メモ用紙・鉛筆



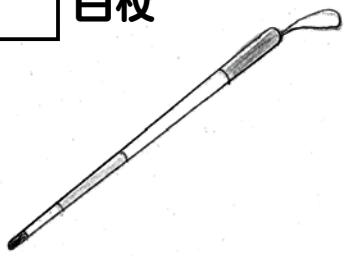
□ 笛など



□ お願いカード

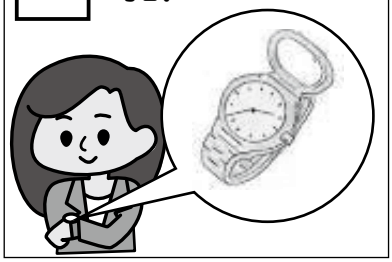
おしえてください

□ 白杖

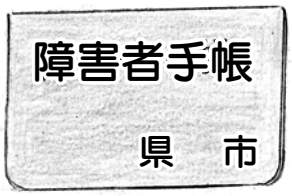


□ めがねなど

□ 時計



□ 障害者手帳



□ お薬手帳

□ 家族の写真

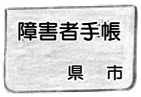
□ バンダナ

□

3 常備品と非常持ち出し品チェックシート

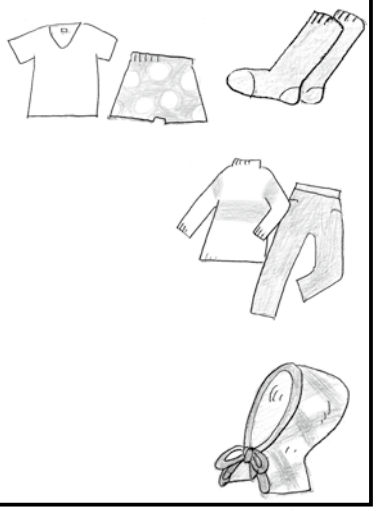
◆貴重品

- □現金（10円玉・100円玉）
- □通帳・カード
- □健康保険証
- □運転免許証・身分証明書
- □印鑑
- □障害者手帳
- □



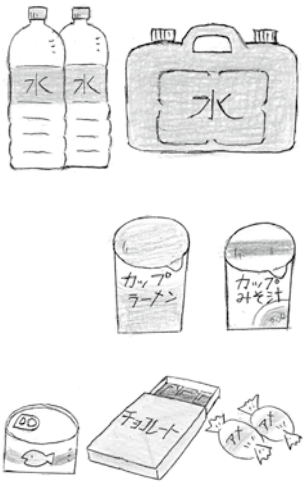
◆衣類

- □上着・下着
- □防災頭巾
- □靴下
- □ハンカチ
- □タオル
- □
- □



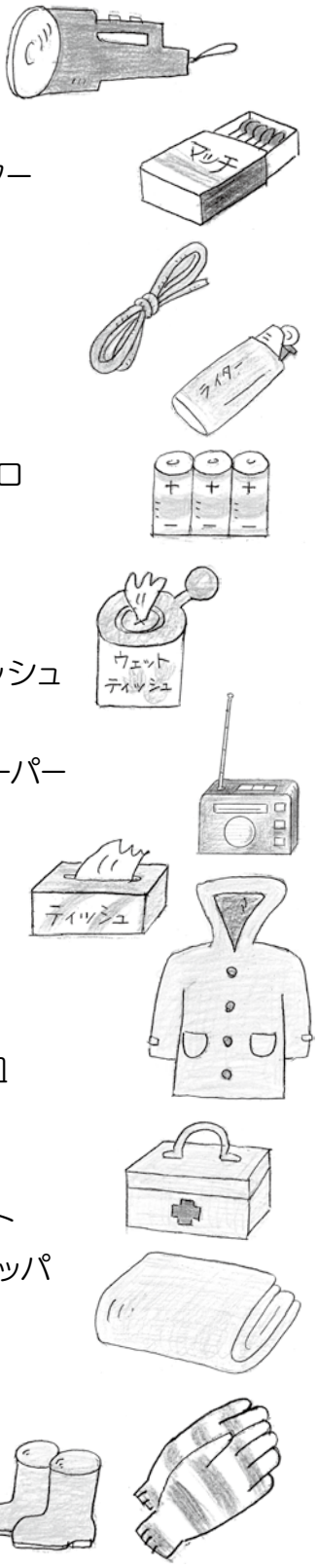
◆食料品など

- □非常食
- □飲料水
- □乾パン
- □
- □
- □



◆日用品等

- □懐中電灯
- □ろうそく
- □マッチ・ライター
- □電池
- □笛
- □筆記具
- □救急箱
- □常備薬
- □使い捨てカイロ
- □マスク
- □生理用品
- □紙オムツ
- □ウエットティッシュ
- □ティッシュ
- □トイレットペーパー
- □石鹸
- □ゴミ袋
- □ビニール袋
- □サランラップ
- □給水袋
- □紙コップ・紙皿
- □箸（はし）
- □毛布
- □レジャーシート
- □靴・長靴・スリッパ
- □軍手
- □レインコート
- □ロープ
- □
- □



非常持出し品は上記に述べたものだけではありません。
自分の生活環境に応じて、必要な物を備えてください。
万が一に備え、水をくみ置きして、３日程度の水を確保しておきましょう。

4 聞き取り調査シート

No.

氏名					歳	性別
身体障害者の等級	種　　級					
コミュニケーション方法	筆談　口話　手話　点字　その他（　　）					
現住所						
避難先	現在避難先					
	過去避難先					
連絡先	FAX					
	TEL					
	e-mail					
心身の状態	良好・けが・病気　　通院　有・無　服薬　有・無					
	症状					
家族	氏　名		続柄		聴覚障害	有・無
	氏　名		続柄		聴覚障害	有・無
	氏　名		続柄		聴覚障害	有・無
住まい 被害の状況	持ち家・借家	一戸建て・集合住宅			生　活	可・不可
	損壊なし・一部損壊・半壊・全壊・浸水					
	状況					
ライフライン	電気	被害なし・復旧済・復旧待ち				
	水道	被害なし・復旧済・復旧待ち				
	ガス	被害なし・復旧済・復旧待ち				
	その他	被害なし・復旧済・復旧待ち				
	状況					
移動手段	状況					
仕事	自営・雇用・その他（　　）					
	状況					
今後のことについて						

訪問日時	年　月　日（　）午前・午後　時　分
支援担当者氏名	
記録担当者氏名	

キリトリ線

5 お願いシート

【お願いシート】

□私は聞こえません

□私は見えない聞こえません

□筆談してください。

□手のひらに文字を書いてください。

□手話通訳者が必要です。派遣依頼先に連絡してください。

□要約筆記者が必要です。派遣依頼先に連絡してください。

□盲ろう通訳・介助員が必要です。派遣依頼先に連絡してください。

●手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の派遣依頼先

社会福祉法人　大分県聴覚障害者協会
〒870-0907 大分市大津町1丁目9番5号
電話：097（551）2152
FAX：097（556）0556
Eメールアドレス　info@toyonokuni.jp

キリトリ線

6 安否連絡ＦＡＸ・安否連絡メール

安否連絡FAX

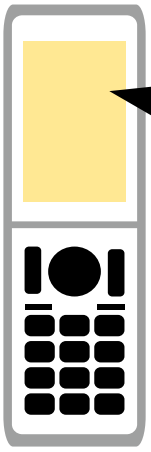
宛先：　　送信者：

件名：　☐ 安否報告　☐ その他（　　）

内容：

☐ 私は無事です。
☐ 避難所にいます。／避難所名（　　）
☐ 自宅にいます。
☐ その他
（　　）

安否連絡メール



〇〇です。

【例文】
・私は無事です。
・避難所にいます。避難所は〇〇〇〇です。
・今から避難所に行きます。避難所は〇〇〇〇です。
・家が半分壊れました。

7 避難メモ（いざという時の控え）

名　　前					
住　　所					
生年月日		性　別		血液型	
電話番号					
障害等級	種　　級				
かかりつけ医（病院）					
服用している薬					
そ の 他					

家族・親族の緊急連絡先		
名　　前	電話・FAX・携帯番号など	メールアドレス

その他の連絡先		
名　　前	電話・FAX・携帯番号など	メールアドレス
大分県聴覚障害者センター		

近くの避難所

聞こえない・見えない聞こえない人の
防災・支援マニュアル

作　成　　**大分県聴覚障害者災害情報保障対策委員会**
社会福祉法人　大分県聴覚障害者協会
大分県難聴者協会
大分盲ろう者友の会
大分県手話通訳問題研究会
大分県手話サークル連絡協議会
全国要約筆記問題研究会大分県支部
大分県要約筆記サークル「陽ざしの会」

発　行　　社会福祉法人　大分県聴覚障害者協会
住　所　　〒870-0907
大分市大津町１丁目９番５号
電　話　　０９７－５５１－２１５２
ＦＡＸ　　０９７－５５６－０５５６
発行日：2018年7月1日

わからない

わからない

何？

何？

困る

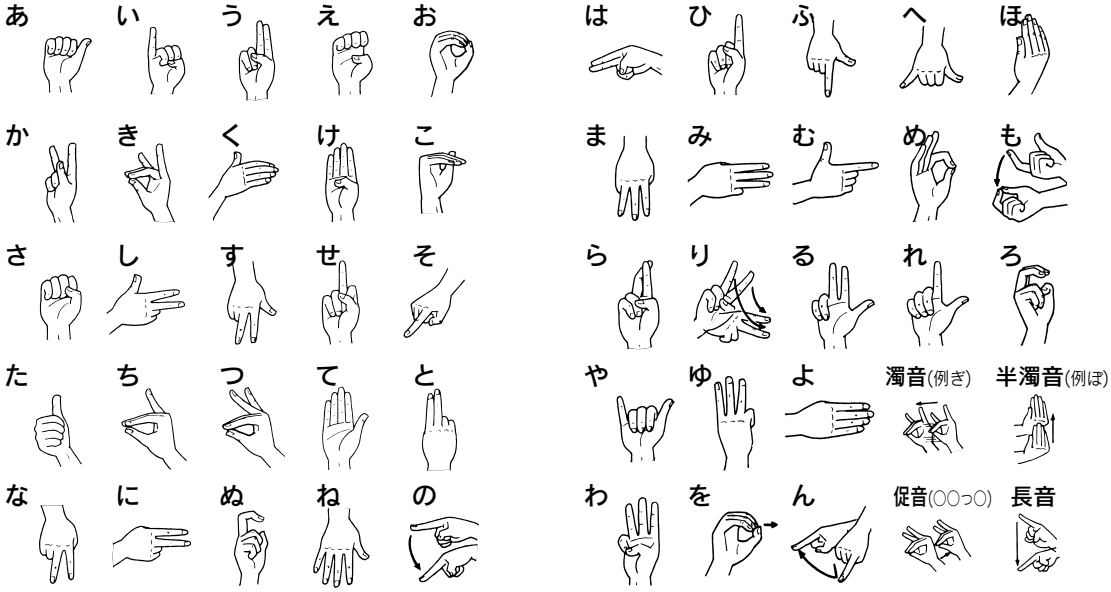
助けて

◆ヘルプカード　例文

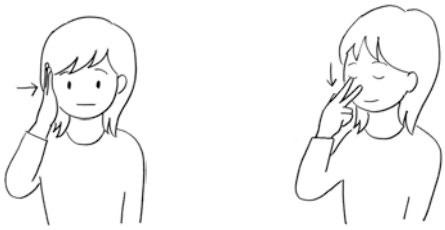
下記の文章を参考にしながら、自分に手伝ってほしいことを記入しましょう

①筆談してください
②何を言っていますか？
③電話してください
④緊急放送やお知らせを教えてください
⑤トイレはどこですか？
⑥ケガをしました。
⑦災害の情報を教えてください
⑧周りの状況を教えてください
⑨動けません
⑩避難所に連れて行ってください
⑪痛いです
⑫家族を探してください
⑬水がほしいです
⑭薬が必要です

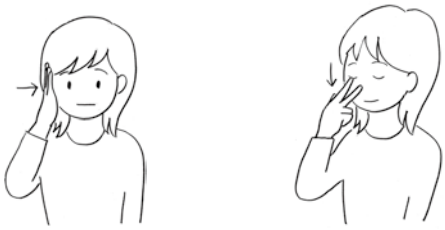
◆指文字表➡



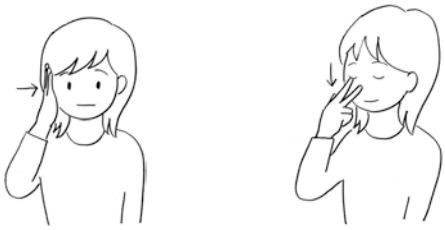
☐ 私は聞こえません
☐ 私は見えない、聞こえません。



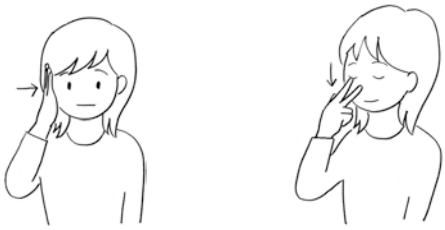
☐ 私は聞こえません
☐ 私は見えない、聞こえません。



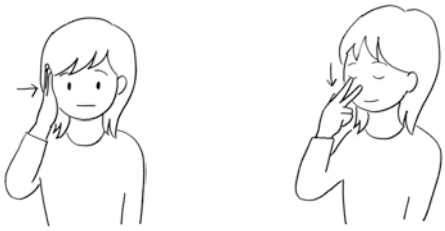
☐ 私は聞こえません
☐ 私は見えない、聞こえません。



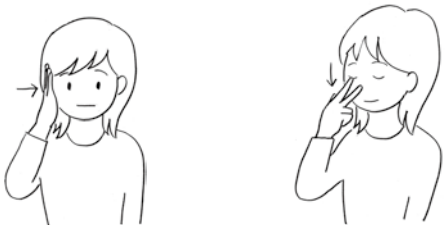
☐ 私は聞こえません
☐ 私は見えない、聞こえません。



☐ 私は聞こえません
☐ 私は見えない、聞こえません。



☐ 私は聞こえません
☐ 私は見えない、聞こえません。



指でさして、教えてください

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
ー	れ	゛	め	へ	ね	て	せ	け	え
	ろ	゜	も	ほ	の	と	そ	こ	お

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0